

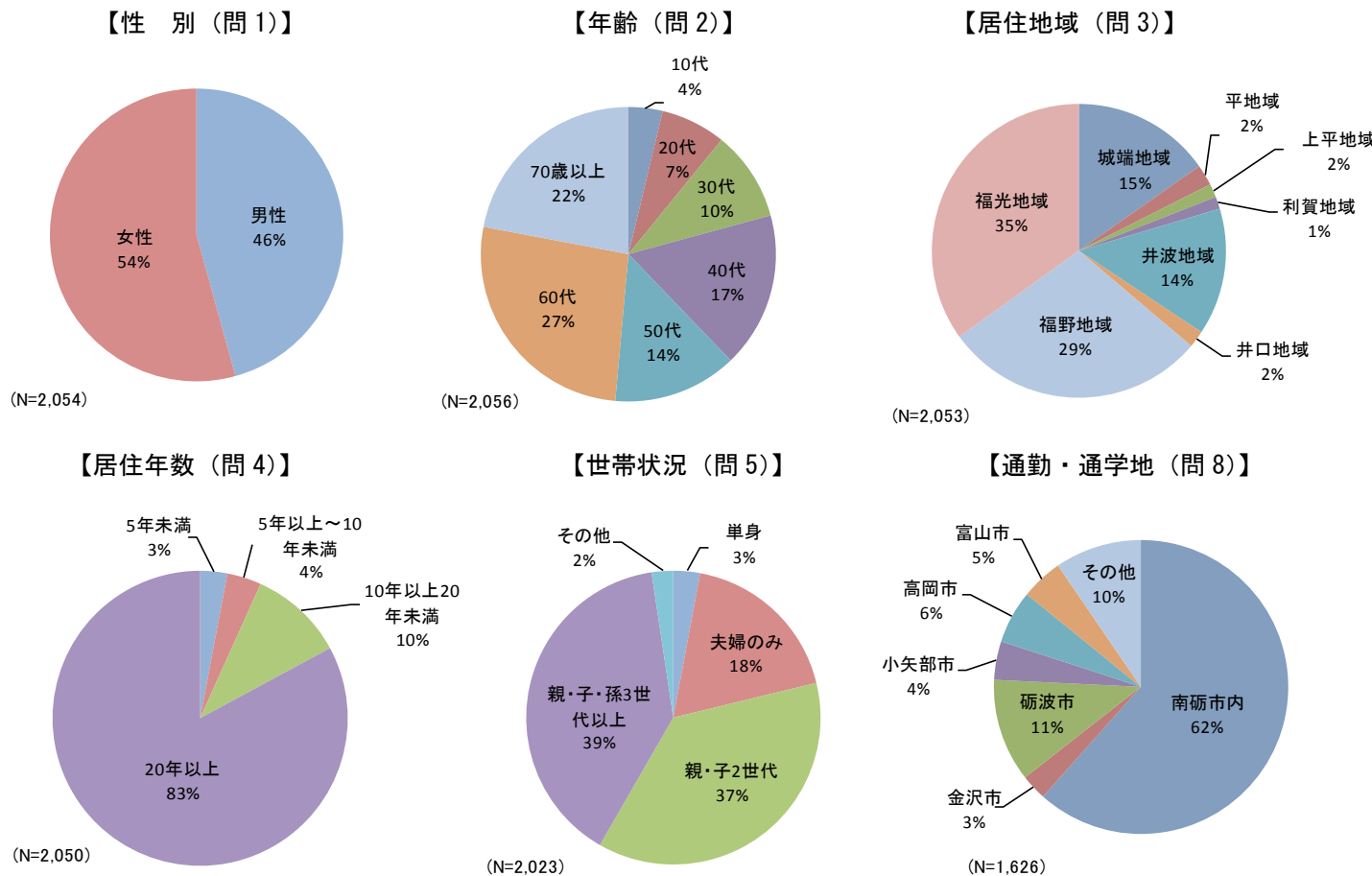
1. 調査概要

(1) 調査方法及び配布・回収状況

- 対象者：無作為抽出した南砺市民 計2,500世帯
(封筒に市民アンケート3通、転出者アンケートを1通封入)
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査期間：2019年1月4日～2019年1月15日
- 回収数：1,539世帯(62%)、市民アンケート2,072票、転出アンケート224票(計2,296票)

(2) 回答者属性

- 性別：ほぼ同数(女性が若干多い)
- 年齢：10代：4%、20代：7%、30代：10%、40代：17%、50代：14%、60代：27%、70歳以上：22%
- 居住地域：福光地域(35%)、福野地域(29%)、城端地域(15%)、井波地域(14%)、平地地域：2%、上平地域：2%、利賀地域：1%、井口地域：2%
- 居住年数：20年以上(83%)が大半を占める
- 世帯状況：親・子・孫3世代以上が最も多く(39%)、次いで「親・2世代」が37%と続く
- 通勤・通学地：南砺市内が62%と最も多く、次いで砺波市(11%)



2. 南砺市の現状評価に関して (問9)

- 満足度については、「道路やバスを使いやすくする」(問9-4)や「安心して子どもを産めるようにする」(問9-13)の満足度が低く、また、全体的に産業や定住に関する項目(問9-25～32)、協働に関する項目(問9-33～36)が低くなっています。
- 重要度については、「雪対策」(問9-7)、「安心して子どもを産めるようにする」(問9-13)、「働きながら子育てができるようにする」(問9-14)などが高くなっています。

		満足度	重要度	
自然環境	問9.1 きれいな川や森を守る	0.38	0.98	
	問9.2 環境のことを考えて暮らすまちにする	0.27	0.93	
	問9.3 土地が上手に使われるようにする	-0.22	0.95	
生活基盤	問9.4 道路やバスを使いやすくする	-0.35	1.10	
	問9.5 火事や災害に強いまちにする	0.12	1.05	
	問9.6 交通事故や犯罪が起こりにくいようにする	0.17	1.08	
	問9.7 雪が降っても安心して暮らせるようにする	0.06	1.23	
	問9.8 住みやすい家をふやす	-0.01	0.65	
	問9.9 歴史あるまちなみや風景を守る	0.24	0.57	
	問9.10 きれいな水を配り、きれいにしてもどす	0.34	0.85	
	問9.11 川の水をきれいに保つ	0.27	0.89	
	問9.12 地域でともに支えあえるようにする	0.08	0.85	
福祉・健康・医療	問9.13 安心して子どもを産めるようにする	-0.19	1.16	
	問9.14 働きながら子育てができるようにする	-0.05	1.13	
	問9.15 お年寄りが生きがいをもって暮らせるようにする	0.00	0.89	
	問9.16 障がいのある人もいきいきと暮らせるようにする	-0.05	0.87	
	問9.17 健康で長生きできるようにする	0.14	0.81	
	問9.18 医療がきちんと受けられるようにする	0.06	1.11	
	問9.19 健康保険や介護保険を維持する	0.15	1.01	
	教育・文化	問9.20 学校での活動をしやすくする	0.07	0.57
		問9.21 いくつになっても学べるようにする	0.04	0.50
問9.22 スポーツ活動をしやすくする		0.06	0.48	
問9.23 文化芸術活動をしやすくする		0.09	0.38	
問9.24 文化財や伝統文化を守る		0.17	0.52	
産業・労働・定住・交流	問9.25 農業で稼げるようにする	-0.27	0.72	
	問9.26 林業で持続的に営めるようにする	-0.20	0.49	
	問9.27 商売をさかんにする	-0.32	0.80	
	問9.28 観光客が来なくなるまちをつくる	-0.29	0.79	
	問9.29 新しく会社や工場を建てる人を応援する	-0.24	0.81	
	問9.30 安心して働ける場をふやす	-0.27	1.10	
	問9.31 Uターンや移住してくる人をふやす	-0.34	1.02	
	問9.32 他の地域や国の人達と交流する	-0.09	0.45	
協働	問9.33 市民と市役所が一緒に地域をつくる	-0.22	0.71	
	問9.34 自治会・町内会の活動を応援する	-0.09	0.48	
	問9.35 ボランティア活動を応援する	-0.04	0.40	
	問9.36 女性と男性が共に活躍できる	-0.05	0.48	
行財政	問9.37 市民に必要な情報を伝える	-0.10	0.81	
	問9.38 市役所の職員数や公共施設を減らす	-0.21	0.53	
	問9.39 市のお金を上手にやりくりする	-0.32	1.14	

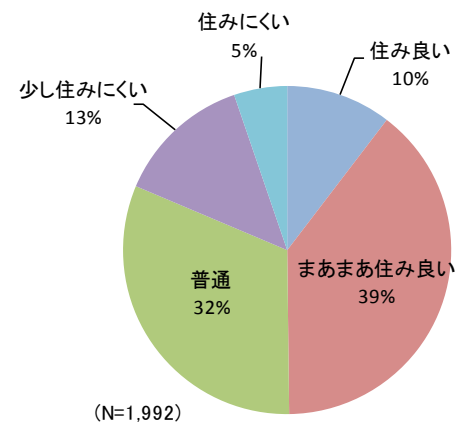
日常生活では公共交通の充実や、雪対策などの充実が求められている一方、産業の振興によるにぎわいや活力の維持、就業の場の確保などが特に強く求められています。
また、安心して子どもを産める環境の充実なども含め、子どもや就業者など、市内に暮らす人をいかに増やしていくかが、今後の方向性として求められます。

第2次南砺市総合計画に関する市民アンケート結果（概要）

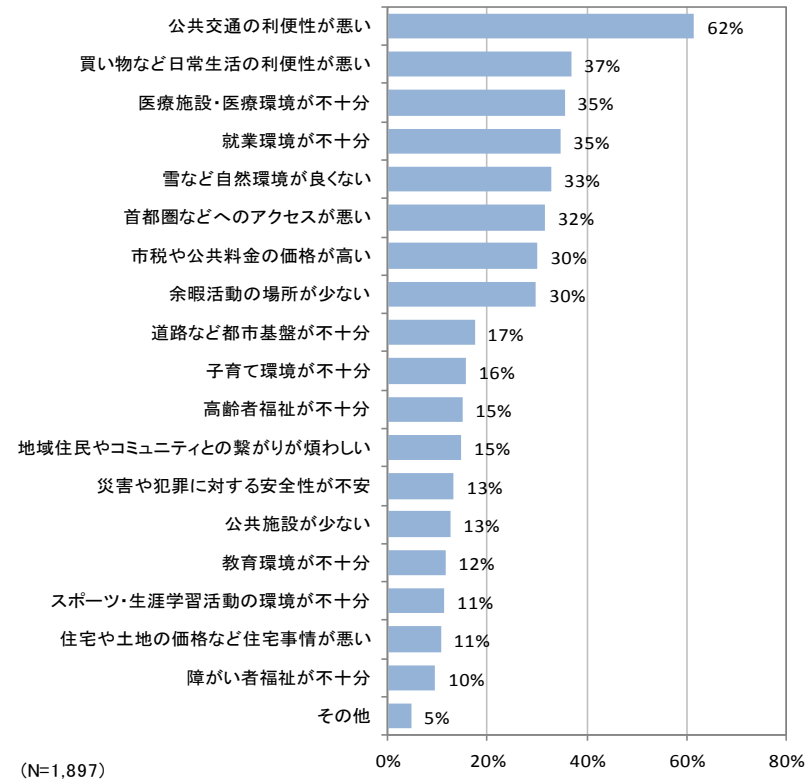
3. 南砺市の住み良さ等について（問10、11）

- ・「住み良い」（10%）、「まあまあ住み良い」（39%）で半数を占め、「少し住みにくい」（13%）「住みにくい」（5%）を上回っています。
- ・暮らしの中の不満点については、「公共交通の利便性が悪い」が62%と特に多くなっています。

【南砺市の住みやすさ（問10）】



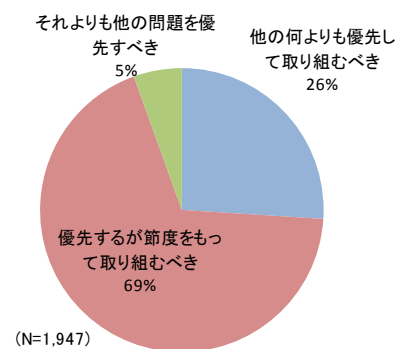
【南砺市のお不満点（問11）】



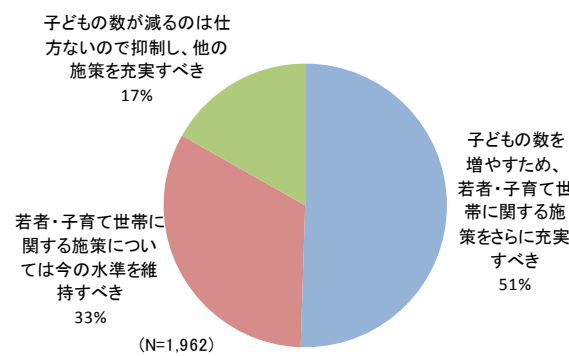
4. 南砺市の将来について（問12、13、14）

- ・人口減少に対しては、「優先するが節度をもって取り組むべき」（69%）が最も多くなっています。
- ・出生数の減少に対しては、「施策をさらに充実すべき」（51%）が最も多くなっています。
- ・定住促進に対しては、「もっと力を入れるべき」が44%と、「今の水準を維持すべき」を若干上回っています。

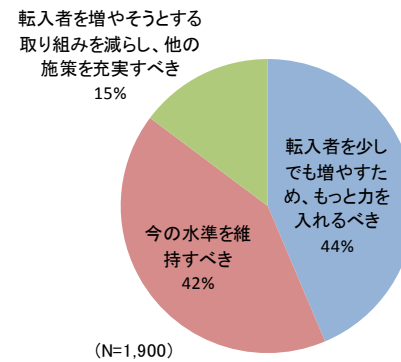
【人口減少に対して（問12）】



【出生数の減少に対して（問13）】



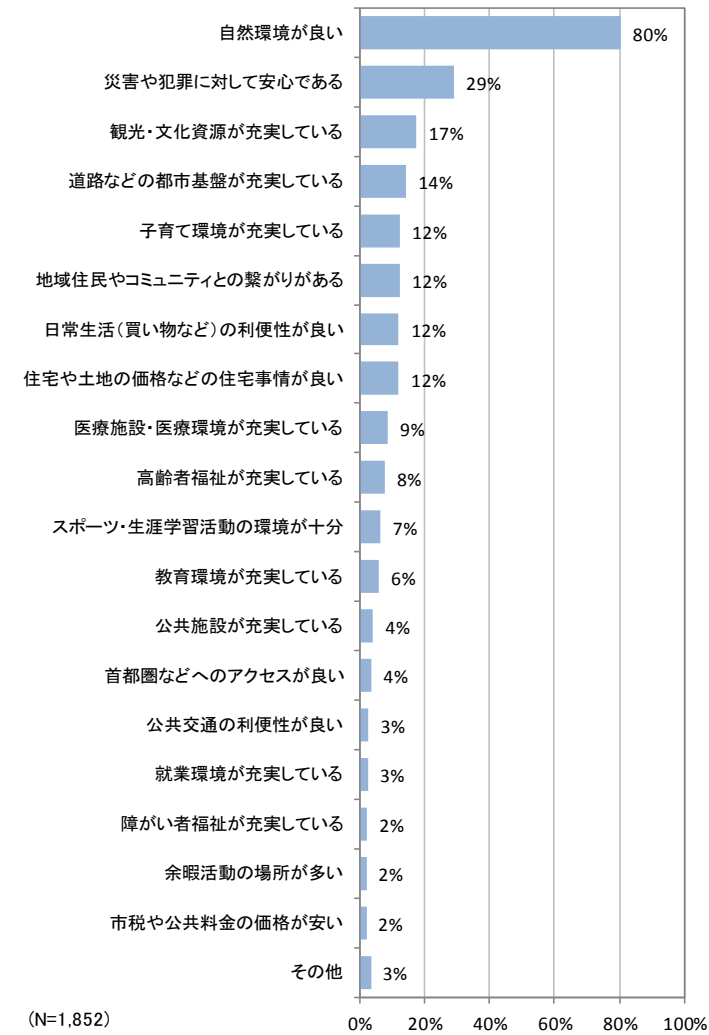
【定住促進に対して（問14）】



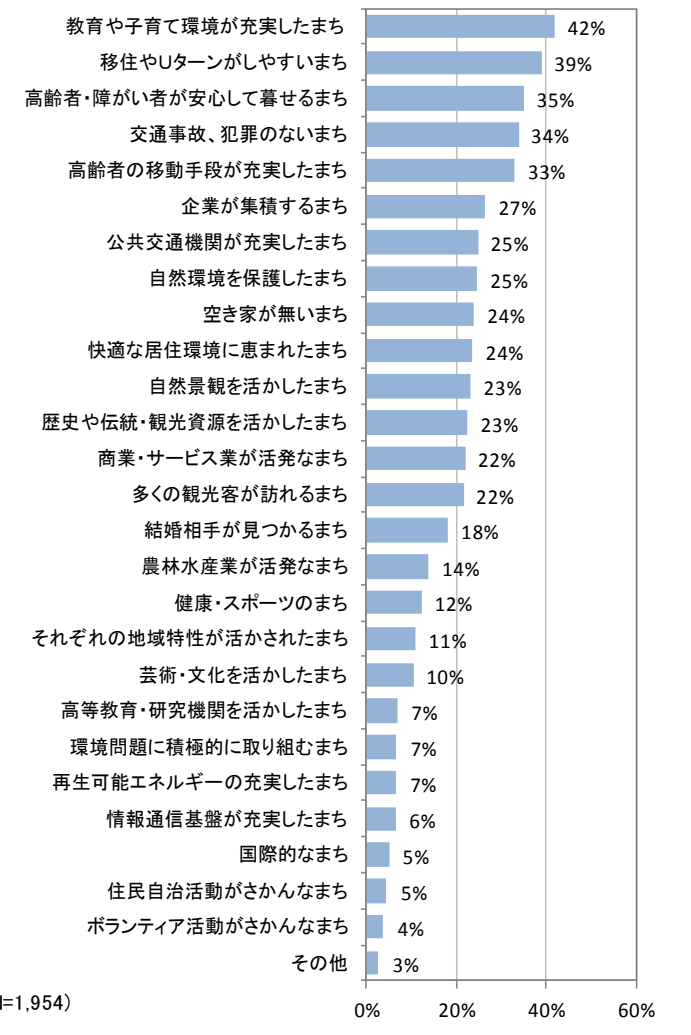
5. 南砺市が目指すべき方向性について（問15、16）

- ・南砺市の魅力は「自然環境が良い」が80%と最も多くなっており、次いで「災害や犯罪に対して安全である」が29%となっています。
- ・目指すべき方向性として、「教育や子育て環境が充実したまち」（42%）が最も多く、次いで「移住やUターンがしやすいまち」（39%）、「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」（35%）が挙がっています。

【南砺市の魅力（問16）】



【南砺市が目指すべき方向性（問15）】



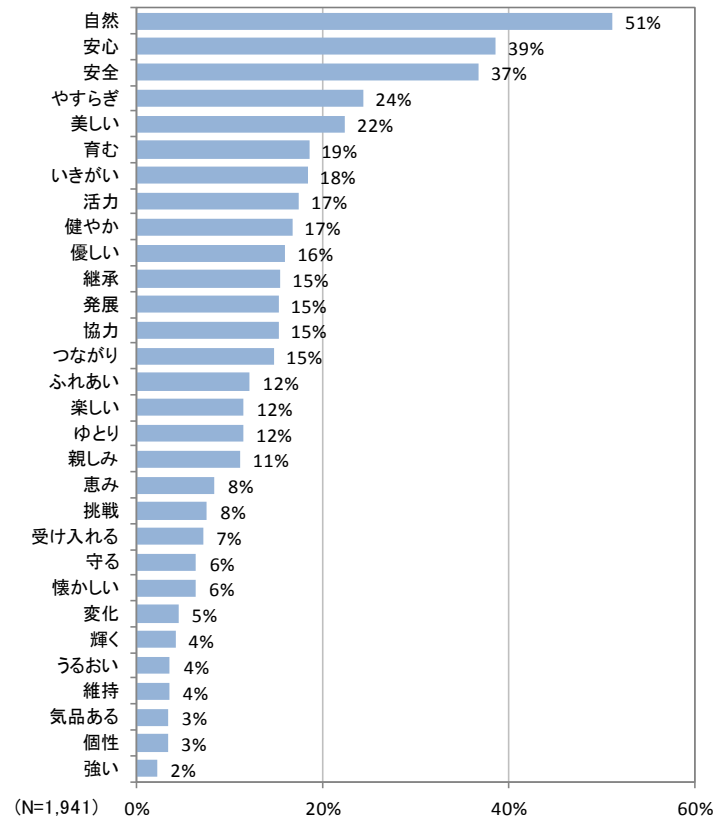
- ・住みやすさについては一定の理解は得られているものの、公共交通をはじめとした日常的な利便性の悪さが指摘されています。
- ・将来の対策については、人口減少についてはある程度やむを得ないと考えられている中で、特に子どもの数の増加については積極的な対応が求められていることがうかがえます。
- ・南砺市の魅力は「自然」と考えられている一方、今後は教育や子育て環境、移住やUターンなどの対策が求められています。
- ・総じて、子どもの数の増加をはじめとした定住人口の確保、人口減少対策が求められている結果となっています。

第2次南砺市総合計画に関する市民アンケート結果（概要）

6. 南砺市の将来イメージについて（問17）

・南砺の将来イメージについては、「自然」が51%と最も多く、次いで「安心」(39%)、「安全」(37%)が多く挙げられています。

【南砺市の将来イメージ（問17）】

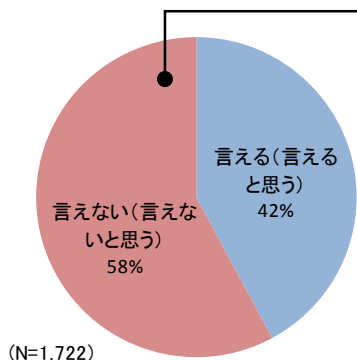


・問16の結果と同様に、豊かな自然を有し、災害や犯罪が少ないという南砺市の魅力を、今後も継承していくことが、市の将来像としてイメージされています。

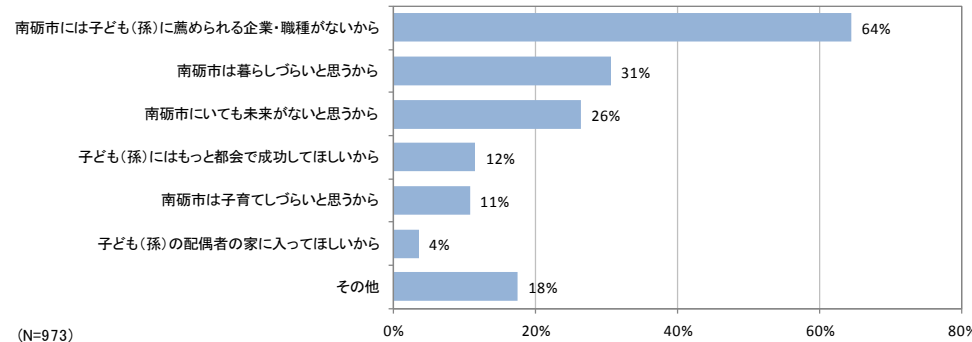
7. お子さん（お孫さん）への関わりについて（問17）

・いずれ南砺市に戻ってきたいかについては、「言えない（言えないと思う）」が58%を占めており、その理由としては「薦められる企業・職種がないから」が64%と最も多く挙げられています。

【南砺市に戻ってきたいか（問18）】



【言えないと思う理由（問19）】



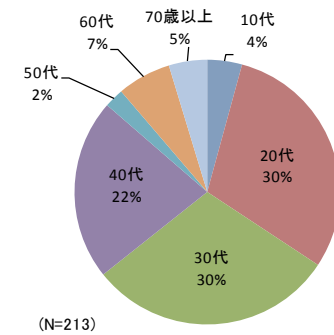
・問9の結果などのように、就業の場が無いことが、他市や県外への流出につながっていると考えられています。

8. 転出の理由等について（転出者アンケート：問7、8）

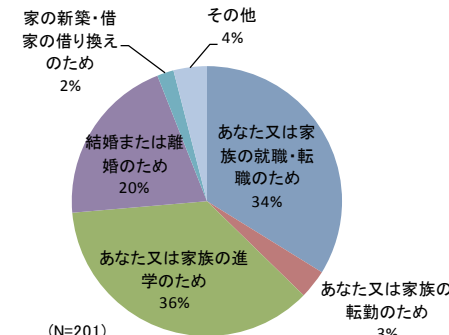
(1) 転出の理由について

・20代～40代で大半の回答を占める中、「進学のため」(36%)、「就職のため」(34%)が多くを占めています。
・現在の場所を選んだ理由として、「学校・職場が近いから」が50%と最も多くを占めています。

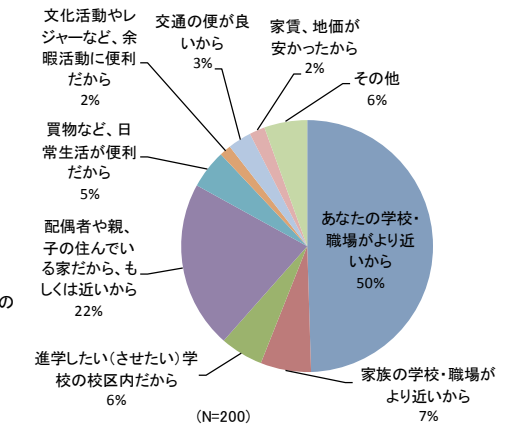
【回答者の年齢（問2）】



【転出の理由（問7）】



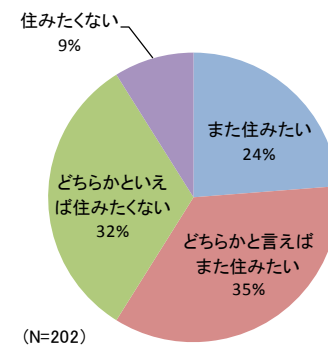
【現在の場所を選んだ理由（問8）】



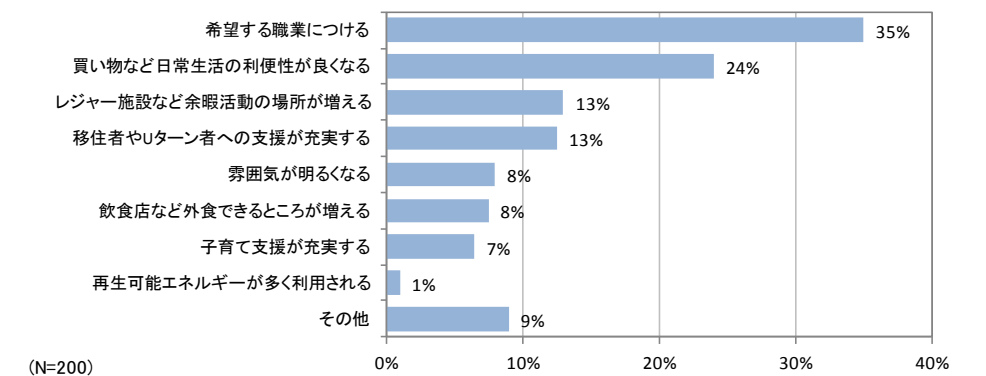
(2) 今後について

・南砺市にまた住みたいかについては、「また住みたい」(24%)、「どちらかと言えばまた住みたい」(35%)で半数以上を占めています。
・今後どのような南砺市となればよいかについては、「希望する職業につける」が35%と最も多くを占めています。

【南砺市にまた住みたいか（問9）】



【どのような南砺市となればよいか（問10）】



・現在南砺市を離れている人も、再び南砺市に戻ってきたいとの意向が一定数みられており、南砺市への愛着の高さなどがうかがえます。
・戻ってくるための条件として、希望する職種があることが上位に挙がっているなど、市民アンケートの問9と同様に、就業の場の充実が求められている現状がうかがえます。